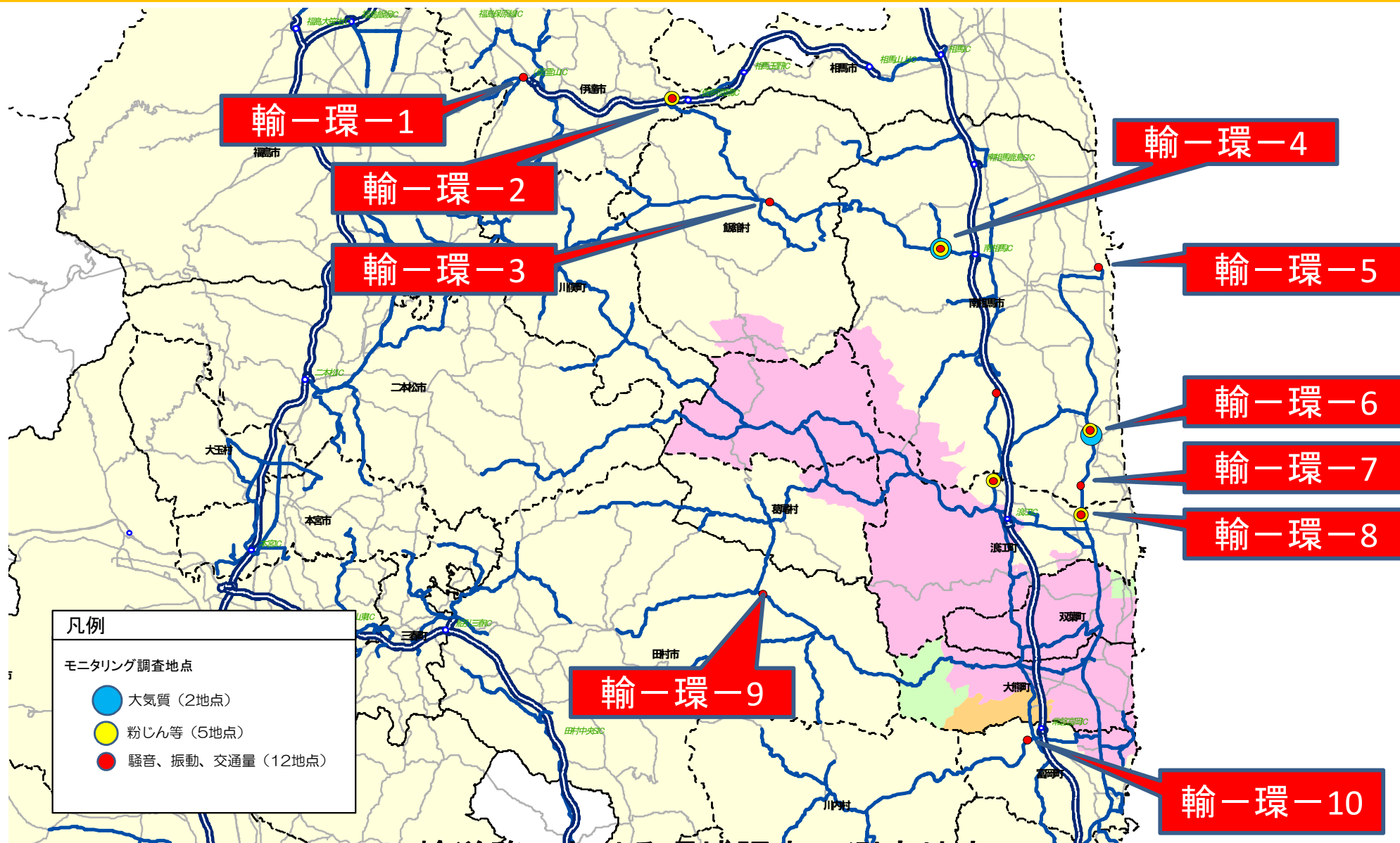


輸送路における環境調査

輸送車両の通過地点において騒音、振動、大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等）の測定を実施し、沿道における生活環境への影響を確認している。



輸送路における環境調査の測定地点

輸送路における環境調査結果① 騒音

輸送路における騒音の測定結果(平成29年度)

地点			騒音[dB]		昼間16時間交通量(朝6時～夜10時)[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両 うち輸送車両	
環境基本法に基づく環境基準			70	70	—	—	—	—
騒音・振動規制法に基づく要請限度			75	75	—	—	—	—
輸一環一	伊達市霊山町 下小国山岸	一般国道 115号	66	65	6,759	9,354	839	4
輸一環二	伊達市霊山町 石田	一般国道 115号	61	65	2,718	4,304	1,032	3
輸一環三	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	70	69	6,669	5,689	1,044	16
輸一環四	南相馬市原町区大 原	県道 原町川俣線	69	68	7,179	6,615	1,492	39
輸一環五	南相馬市原町区北 泉南走	県道 北泉小高線	62	63	742	1,768	815	6
輸一環六	南相馬市小高区 福岡白山	一般国道 6号	70	70	8,042	9,399	3,252	3
輸一環七	南相馬市小高区行 津	一般国道 6号	<u>72</u>	<u>71</u>	8,562	8,236	3,069	9
輸一環八	双葉郡浪江町 藤橋	一般国道 6号	<u>71</u>	<u>71</u>	9,065	8,827	2,739	8
輸一環九	田村市都路町 岩井沢	一般国道 288号	66	67	4,076	4,103	611	48
輸一環一〇	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	65	64	2,353	2,689	1,028	43

※ 騒音、交通量とも昼間(6時～22時)の測定結果。

※ 騒音の値は等価騒音レベル(L_{Aeq})。

※ 下線は環境基準を超過したものを示す。

輸送路における環境調査結果② 振動

輸送路における振動の測定結果(平成29年度)

地点			振動[dB]		昼間12時間交通量(朝7時～夜7時)[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両 うち輸送車両	
環境基本法に基づく環境基準			—	—	—	—	—	—
騒音・振動規制法に基づく要請限度			70	70	—	—	—	—
輸一環一	伊達市霊山町 下小国山岸	一般国道 115号	38	40	5,761	7,589	768	4
輸一環二	伊達市霊山町 石田	一般国道 115号	33	39	2,350	3,782	980	3
輸一環三	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	52	51	5,914	5,015	947	16
輸一環四	南相馬市原町区大 原	県道 原町川俣線	33	30	6,178	5,854	1,366	39
輸一環五	南相馬市原町区北 泉南走	県道 北泉小高線	25未満	29	704	1,583	765	6
輸一環六	南相馬市小高区 福岡白山	一般国道 6号	49	51	6,792	7,911	2,842	3
輸一環七	南相馬市小高区行 津	一般国道 6号	57	55	7,354	6,902	2,697	9
輸一環八	双葉郡浪江町 藤橋	一般国道 6号	57	55	7,792	7,539	2,430	8
輸一環九	田村市都路町 岩井沢	一般国道 288号	38	38	3,476	3,474	536	48
輸一環一〇	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	38	38	2,096	2,439	1,005	43

※ 振動、交通量とも昼間(7時～19時)の測定結果。

※ 振動の値は80%レンジ上端値(L10)。

輸送路における環境調査結果③ 大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)

輸送路における二酸化窒素、浮遊粒子状物質の測定結果(平成29年度)

地点			区分	二酸化窒素[ppm]		浮遊粒子状物質[mg/m ³]		24時間交通量[台/日]			
				事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両	
			環境基準	0.06	0.06	0.10	0.10			輸送車両	
輸一環一4	南相馬市 原町区 大原	県道 原町 川俣線	春季	0.005 (0.003~0.008)	0.004 (0.002~0.005)	0.011 (0.005~0.019)	0.009 (0.006~0.014)	7,807	6,929	1,595	40
			夏季	0.003 (0.002~0.006)	0.004 (0.003~0.005)	0.010 (0.006~0.019)	0.011 (0.007~0.018)	7,686	6,646	1,368	35
			秋季	0.004 (0.002~0.005)	0.005 (0.003~0.006)	0.012 (0.007~0.017)	0.007 (0.004~0.009)	7,300	6,341	1,891	14
			冬季	0.007 (0.004~0.012)	—	0.009 (0.005~0.012)	—	6,608	—	—	—
輸一環一6	南相馬市 小高区 福岡有山	一般国道 6号	春季	0.006 (0.001~0.009)	0.007 (0.003~0.009)	0.012 (0.005~0.019)	0.011 (0.007~0.014)	10,809	10,438	3,809	3
			夏季	0.005 (0.002~0.009)	—	0.011 (0.007~0.018)	—	10,914	9,686	3,127	0
			秋季	0.007 (0.003~0.010)	—	0.011 (0.006~0.017)	—	11,822	—	—	—
			冬季	0.009 (0.002~0.015)	—	0.006 (0.004~0.009)	—	10,586	—	—	—

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質は7日間測定。

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の測定値は調査期間平均値、カッコ内は日平均値の最小値～最大値。

※ 環境基準は環境基本法に基づく年間評価の値。

※ 輸送時調査が“—”の地点は、調査期間中に輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果④ 大気質(粉じん等)

輸送路における粉じん等の測定結果(平成29年度)

地点			区分	粉じん等[t/km ² /月]		24時間交通量[台/日]			
				事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両	
			参考値	(20)	(20)			輸送車両	輸送車両
輸一環一2	伊達市 霊山町石田	一般国道 115号	春季	5.8	3.8	4,781	4,484	1,078	3
			夏季	—	3.4	—	4,059	790	20
			秋季	—	5.3	—	4,560	1,240	30
			冬季	3.1	3.3	2,842	3,567	932	16
輸一環一4	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	春季	3.2	3.0	7,807	6,929	1,595	40
			夏季	2.5	1.4	7,686	6,646	1,368	35
			秋季	2.6	1.9	7,300	6,341	1,891	14
			冬季	14.3	—	6,608	—	—	—
輸一環一6	南相馬市 小高区 福岡有山	一般国道 6号	春季	2.5	2.7	10,809	10,438	3,809	3
			夏季	2.2	—	10,914	9,686	3,127	0
			秋季	3.0	—	11,822	—	—	—
			冬季	3.5	—	10,586	—	—	—
輸一環一8	双葉郡 浪江町藤橋	一般国道 6号	春季	6.8	4.1	9,581	9,778	3,235	8
			夏季	5.2	8.4	9,513	9,250	2,959	8
			秋季	7.4	5.7	10,076	9,127	3,054	8
			冬季	9.2	6.3	9,605	8,955	2,985	12

- ※ 粉じん等は15日間測定。
- ※ 粉じん等は法令に基づく基準値はないため、「道路環境影響評価の技術手法(国土技術政策総合研究所)」の参考値を比較のため掲載。
- ※ 事前調査が“—”の地点は、調査期間中、輸送が継続しており、輸送が無い状態では未測定であった。
- ※ 輸送時調査が“—”の地点は、調査期間中に輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果(まとめ)

- 騒音、振動について、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られなかった。
- 騒音については、事前調査の段階で既に環境基準を上回った地点があったが、輸送車両の通過が数台程度と少なく、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られなかった。振動は全ての地点で要請限度を下回った。
- 大気質について、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られず、全ての調査期間で環境基準を下回った。粉じん等についても、全ての地点で参考値を下回った。
- 今後も引き続きモニタリングを実施するとともに、制限速度の遵守、急発進及び急加速の抑制等により、輸送量の増加時にも騒音等の影響の低減に努める。